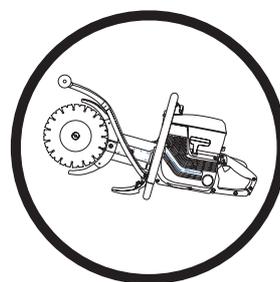


取扱説明書

K650 Cut-n-Break



Japanese

この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。

記号の説明

シンボルの説明：

警告！マシンは、正しくない使い方、いかげんな使い方をすると、操作者や周囲の人に、重大な、あるいは致命的な傷害を引き起こす可能性があります。



この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。



以下の装備を常に身に付けてください：

- ・ 防護ヘルメット
- ・ 防音マフラー
- ・ 保護メガネまたはバイザー
- ・ 呼吸マスク



本製品は、適用されるEC指令に準拠しています。



警告！切断時に発生するほこりを吸い込むことにより、損傷が生じる可能性があります。認可された呼吸マスクを使用してください。ガソリンの上記や、排気ガスを吸引しないようにしてください。いつでも、十分に換気を行ってください。



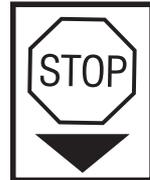
警告！切断ブレードからの火花は、たとえば次のような可燃物に火をつけることがあります。ガソリン（ガス）、木、枯草など。



チョーク記号



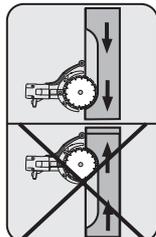
ストップ記号



水冷却をいつも使用する必要があります。



いつも、正しい方向に切断してください。安全の指示事項を参照してください！



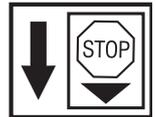
環境への騒音の排出は、欧州共同体の指令に従っています。機械による排出は、主要諸元の項目と、ラベルに記載されています。



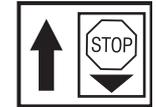
マシンに付いている他のシンボル/銘板はそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

取扱説明書における記号：

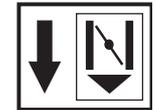
何らかの検査やメンテナンスを行う前に、ストップスイッチを「STOP」位置に移動させ、エンジンを切ります。



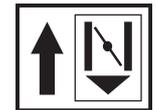
動作位置。



閉じた位置でのチョークレバー



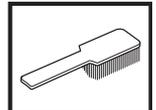
開いた位置でのチョークレバー



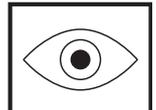
常に承認された保護手袋を着用してください。



定期的な清掃が必要です。



外観検査。



保護ゴーグルやバイザーの着用が必要です。



目次

目次

記号の説明

シンボルの説明：	2
取扱説明書における記号：	2

目次

目次	3
----------	---

各部説明

パワーカッターの各部名称	4
--------------------	---

安全上の指示事項

新しいパワーカッターを使用する前のステップ	5
使用者の身体保護具	5
安全な使用について	6
マシンの安全装置	7
マシンの安全装備の検査、メンテナンス、点検?	8
ダイヤモンドブレード	10
一般的な作業方法	11

組立て

ブレードの組立	13
ブレードの保護	13

燃料の取扱

燃料	14
給油	14

始動と停止

始動前に	15
------------	----

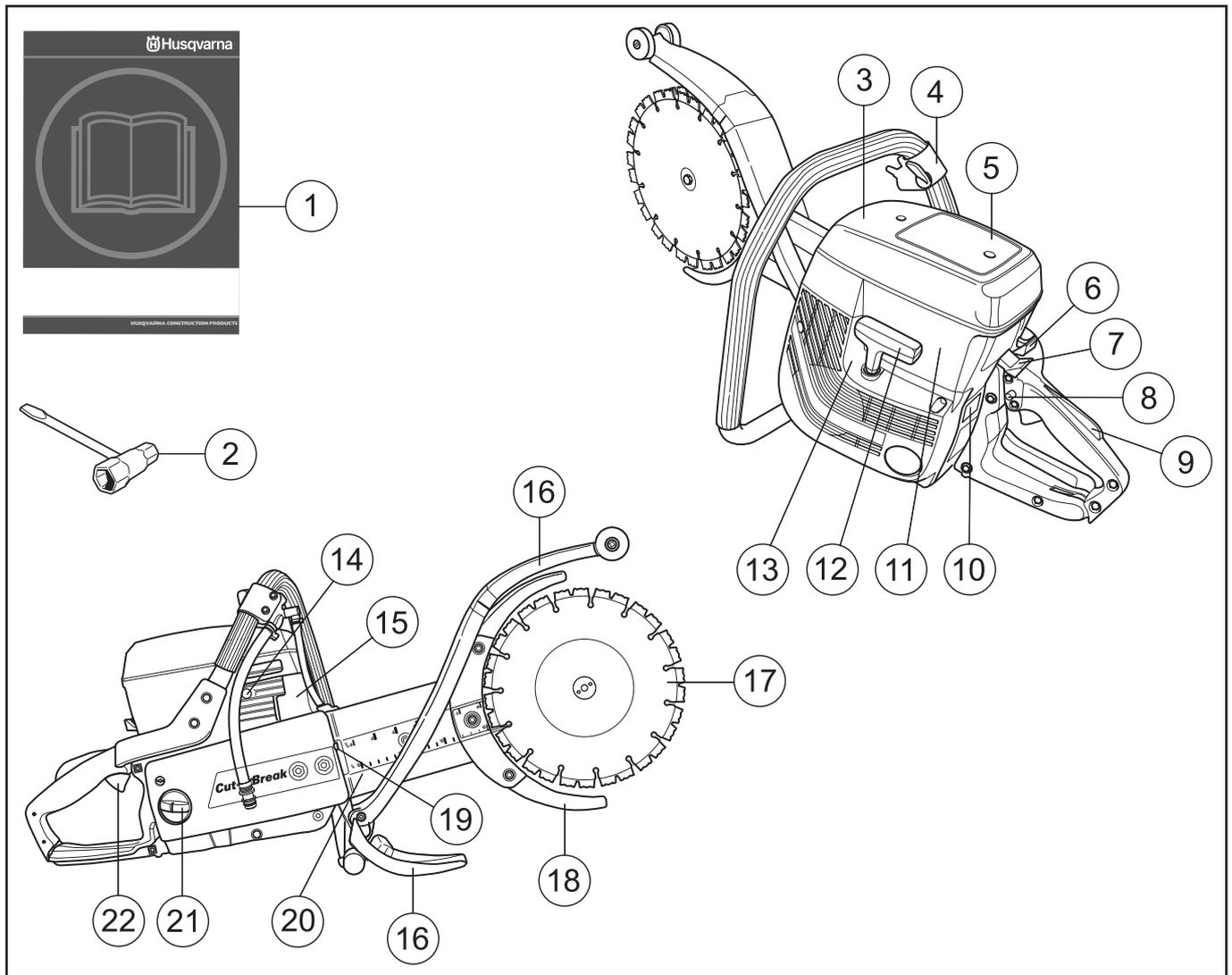
メンテナンス

ドライブベルトの検査と調整	16
ドライブベルトの交換	16
ベルトプーリーとクラッチ	17
キャブレター	17
エアフィルター	18
スターター	19
スパークプラグ	20
冷却システム	21
マフラー	21
一般的なメンテナンス方法	21

主要諸元

主要諸元	22
切断装置	22
EC適合性宣言	23

各部説明



パワーカッターの各部名称

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 取扱説明書 | 12. スターターハンドル |
| 2. コンビレンチ | 13. スターター |
| 3. エアフィルターカバー | 14. 減圧バルブ |
| 4. フロントハンドルと水タップ | 15. マフラー |
| 5. 警告シール | 16. スプラッシュガード |
| 6. チョーク | 17. ブレード |
| 7. ストップスイッチ | 18. ブレードガード |
| 8. スタートスロットルロック | 19. ベルトテンショナー |
| 9. スロットルロック | 20. 切断アーム |
| 10. 規格プレート | 21. 燃料タンク |
| 11. シリンダーカバー | 22. スロットルトリガー |

安全上の指示事項

新しいパワーカッターを使用する前のステップ

- この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。
- マシンは、コンクリート、レンガ、石、鋳鉄、セメントパイプなど、硬い物質を切断することのみを目的として、設計されています。
- ブレードの組立と調節を確認します。ブレードの調節の項目に記載される説明を参照してください。
- エンジンを始動させ、アイドルングの設定を確認します。「メンテナンス」の項目の説明を参照してください。キャブレターが正しく設定された場合は、ブレードがアイドルング中に静止するはずですが、アイドルング速度の設定は、取扱説明書に記載してあります。これらの説明に従って、正しい速度を設定します。パワーカッターは、アイドルング速度が正しく調整されていない状態で使用してはいけません！
- ハスクバーナの販売店に、定期的にパワーカッターの検査をさせ、重要な調整や修理を行わせてください。



警告！いかなる状況でも、製造者の承認を得ずに、マシンのもともとの設計を変更してはいけません。つねに、純正の交換部品を使用してください。承認のない変更および/または付属品の使用は、使用者や周囲の人に対して深刻な傷害をもたらすことがあります。



警告！物の切断、研磨、ドリル、やすりがけ、成形を行う製品の使用は、有害な化学物質を含む、ほこりや蒸気を発生させることがあります。扱っている物質の性質を理解し、適切な防塵マスク、あるいは呼吸保護具を着用してください。



警告！不注意な取扱や誤った取扱をすると、パワーカッターは危険な道具となり、重傷や時には致命傷の原因となります。本書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。



警告！マシンのイグニションシステムは、操作中に電磁界を生成します。この電磁界は、ある状況下ではペースメーカーに支障を来すことがあります。深刻なまたは致命傷の危険を避けるため、ペースメーカーを使用している人がマシンを操作する前に、主治医およびペースメーカーの製造元に相談することを勧めます。

ハスクバーナ・コンストラクション・プロダクツは、継続的な製品改善を方針としています。ハスクバーナは、事前の通知なくして、製品の設計や外観を変更する権利を留保します。また、さらなる設計の変更を行う義務も負担しません。

取扱説明書のあらゆる情報とデータは、取扱説明書が印刷された時点において適用されていたものです。

使用者の身体保護具

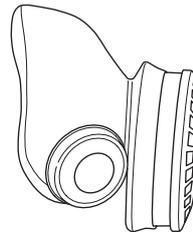


警告！マシンを使用するときは、認可のある身体保護具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具の選択については、販売店にご相談ください。

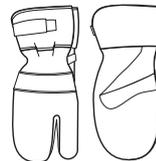
- 防護ヘルメット
- 防音マフラー
- 保護メガネまたはバイザー



- 呼吸マスク



- 重作業用のしっかりと握れる手袋



- 自由に動くことのできる、ぴったりとした、重作業用の快適な衣服。



- つま先部スチール製、滑らない靴底の靴。



- 常に救急箱を身近に備えてください。



安全上の指示事項

安全な使用について



警告！この取扱説明書の内容を完全に理解するまでは、パワーカッターを使用してはいけません。「パワーカッターの安全装備の管理、メンテナンス、点検」の項目に記載されている諸点に加えて、あらゆる点検が、トレーニングを受けたサービス技術者によって行われる必要があります。

職場の安全

- 作業場所を清潔に、照明を明るく保ちます。乱雑な、あるいは暗い場所では、事故が起こりやすくなります。
- 本機を室内で使用しないでください。エンジンの排気ガスを吸引することによる危険について理解してください。
- 濃霧、雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、地面が凍結していたりなどして危険です。
- 作業場所が清潔ではないとき、安定した足場がないときには、パワーカッターを始動させてはいけません。予期しない動きをする障害物に注意します。切断時は、何らかの物が崩れたり、落下したりして、操作上の傷害を発生させることがないように気をつけます。傾斜した場所で作業を行うときは特に注意します。

切断場所に、管、電気ケーブルが通っていないことを確認します。

- 周囲を確認してください。
 - 近くの人や動物、または他の物がパワーカッターの操作に影響しないことを確認します。
 - 上記のいずれも、ブレードと接触しないようにします。



警告！換気が正しく行われていない場所では、マシンを使用しないでください。換気が不十分であると、重大な傷害や死亡を引き起こすことがあります。



警告！パワーカッターの安全距離は15メートルです。動物や傍観者が、作業場所にいないことを確認する責任が、操作者にはあります。切断は、作業場所に問題がなく、足場がしっかりしている場合にのみ、始めることができます。

個人の安全

- 身体保護具を着用してください。身体保護具の項の説明を参照してください。
- 疲れているとき、アルコールを摂取したとき、または視覚、判断、運動能力に影響を及ぼすような医薬品を使用したときには、絶対にマシンを使用しないでください。
- 取扱説明書の内容について理解していない人には、マシンを絶対に使用させないでください。
- 適切な衣服を着用してください。大き過ぎる服や、宝石などを着用してはいけません。髪の毛、衣服、手袋が、動作する部品に触れないようにしてください。大き過ぎる衣服、宝石、長い髪の毛は、動作する部品に巻き込まれることがあります。
- エンジンの動作中においては、ブレードから距離を保ちます。
- 安全かつ安定した作業位置を、つねに確保してください。



警告！循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。これらの症状には、無感覚、感覚の喪失、うずき、ちくちくとした痛み、苦痛、体力の喪失、肌の色または状態の変化が含まれます。これらの症状は通常、指や手の甲、手首に現れます。

使用および注意

- パワーカッターは、石などの、硬い物質を切断するために設計されています。柔らかい物質を切断しているときには、キックバックの危険性が増大していることに注意してください。「キックバックを避ける方法」の項の説明を参照してください。
- 欠陥のあるマシンは絶対に使用しないでください。本書の内容に従って、点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、専門家でなければできないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。
- 何らかの改造を受けて出荷時の仕様とは異なっているマシンは、絶対に使用しないでください。
- 切断装置のガードが、マシンの運転時にはいつでも取り付けられている必要があります。
- 切断装置が回転している状態のマシンを、移動させないでください。

搬送と保管

- パワーカッターを鍵のかかる場所に保管し、子供や、承認を受けていない人が触れることのないようにします。
- 移動または保管中に損傷が発生していないか、新しいブレードを検査します。

安全上の指示事項

燃料の安全について

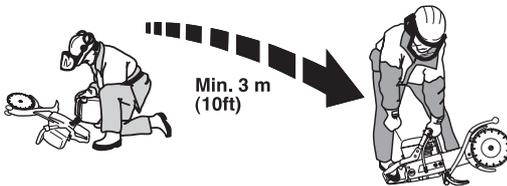


(給油/燃料の混合/保管。)



警告！燃料を取り扱うときには注意します。火災や、爆発、煙の吸引などのリスクを念頭に置きます。

- ・ エンジンの運転中は絶対に給油をしてはいけません。
- ・ 燃料の補給や混合 (ガソリンと2サイクルオイル) を行うときは、十分に換気してください。
- ・ 給油後は、給油した場所から少なくとも3 m離れたところでマシンを始動してください。



- ・ 下記の条件では、決して本機を始動しないでください：
 - 燃料をこぼした場合。きれいに拭き取り、表面に残った燃料が蒸発するのを待ちます。
 - 自分や衣服に燃料がかかったときは、衣服を交換します。燃料に接触した体の部分を洗浄します。石鹸と水を使用します。
 - マシンから燃料が漏れている場合。燃料キャップや、燃料ラインから漏れないか、定期的に検査します。
- ・ マシンと燃料は、電気機器、電気モーター、リレー/スイッチ、ボイラーなど、火花や裸火を発するものから離して保管し、液体漏れやガスによる火災発生の危険性をなくしてください。
- ・ 燃料の保管には、保管専用に承認された容器を使用してください。
- ・ マシンを長期間にわたり保管するときは、燃料タンクを空にしてください。余分な燃料の処分方法については、地域のガソリンスタンドにお尋ねください。
- ・ こぼれ防止バルブのある、ハスクバーナの燃料容器を、いつも使用してください。



警告！火災や、爆発、煙の吸引などのリスクを念頭に置きます。給油の前にはエンジンを停止させます。燃料があふれないようにします。地面やマシンへのこぼれをふき取ります。自分や衣服に燃料がこぼれたとき。衣服を着替えます。始動させる前に、給油場所から少なくとも3メートル離れた場所にマシンを移動させます。

マシンの安全装置

この項目では、マシンの安全装置について説明しており、その目的、マシンの正確な動作を確保するための検査とメンテナンスの方法を記載しています。この装置がマシンのどこに位置しているかを確認するため、「各部名称」の項目を参照してください。



警告！欠陥のある安全装置を装着したマシンは決して使用しないでください。本項目に定められている、検査、メンテナンス、点検を定期的に行ってください。

防振装置

本機には防振装置がついており、振動をやわらげ操作しやすいようになっています。

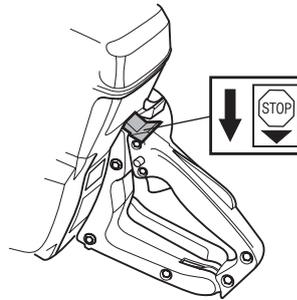
本機の振動軽減システムは、エンジンユニットや切断装置と、マシンのハンドルユニット間の振動の伝導を軽減します。

切断装置を含む、エンジン部に、振動軽減ユニットを取り付け、ハンドルを振動から守っています。



ストップスイッチ

ストップスイッチはエンジンを切るときに使用します。

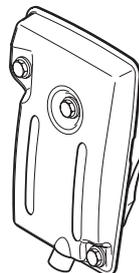


マフラー



警告！使用中と、使用の後のしばらくの時間において、マフラーは非常に熱くなります。熱くなっている場合には、マフラーに触れてはいけません。

マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、排気ガスを使用者から遠ざける働きをします。



安全上の指示事項

注意！欠陥のあるマフラーを装着したマシンは決して使用しないでください。



警告！エンジンの排気ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となることがあります。屋内や可燃物付近では、決して本機を始動しないでください！

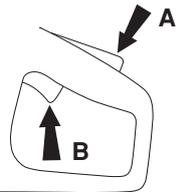
重要！マシンのマフラーを検査、メンテナンス、点検するときには、指示事項を遵守することが非常に重要です。詳細は、「マシンの安全装置の検査・メンテナンス・点検」を参照してください。



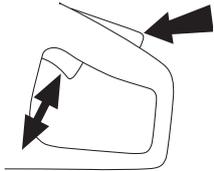
警告！マフラーには発ガン成分となり得る化学物質が使われています。万が一マフラーが損傷した場合、これらの物質に触れないようにしてください。

スロットルロック

スロットルトリガーロックは、スロットルの操作ミスを防ぐためのものです。ロック(A)が押されたとき、スロットル(B)が解放されます。



スロットルが押されている間、トリガーロックは押されたままになります。ハンドルのグリップを離すと、スロットルとスロットルロックの両方が、初期位置に戻ります。これは、2つの独立したリターンスプリングシステムを通じて行われます。この位置は、スロットルが自動的にアイドリングにロックされ、意図しない作動を防ぎます。

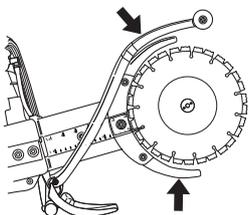


ブレードの保護



警告！マシンを始動する前はいつでも、ブレードガードが正確に装着されていることを確認してください。

これらのガードは、ブレードの上下に取り付けられ、ブレードの部品や切断対象物が使用者に対して飛び散ることの防止を目的として設計されています。

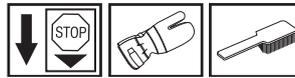


マシンの安全装備の検査、メンテナンス、点検？



警告！マシンに関するすべてのサービス、修理をするには、特別な研修が必須です。マシンの安全装置には、特にこのことが該当します。？マシンが下記の検査のいずれかに不合格であったときは、サービス代理店に連絡してください。当社の製品を購入された場合、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。マシンを販売した小売店がサービス代理店ではない場合、最寄りのサービス代理店の住所を小売店にお尋ねください。

防振装置



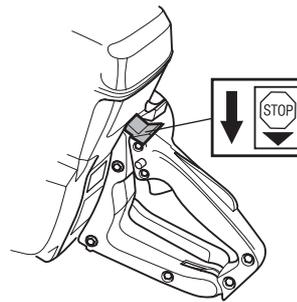
防振ユニットにヒビや変形がないか、定期的に点検します。



防振ユニットがエンジンユニットとハンドルユニットにしっかりと固定されていることを確認します。

ストップスイッチ

エンジンを始動し、ストップスイッチを停止設定にしたときにエンジンが停止することを確認します。



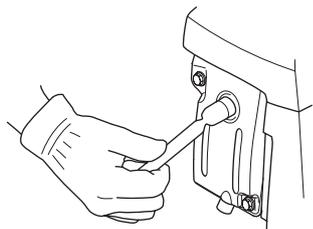
マフラー

欠陥のあるマフラーを装着したマシンは決して使用しないでください。



安全上の指示事項

マフラーがマシンにしっかりと固定されているかどうか、定期的に点検してください。

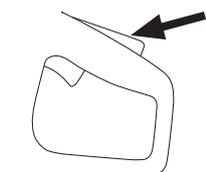


スロットルロック

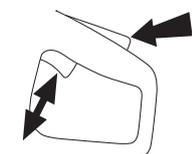
- スロットルロックを放したとき、スロットルトリガーがアイドリングの設定になっていることを確認します。



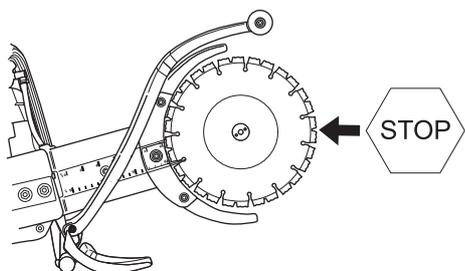
- スロットルロックを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



- スロットルトリガーとスロットルロックがスムーズに動き、リターンスプリングが正しく機能していることを点検します。

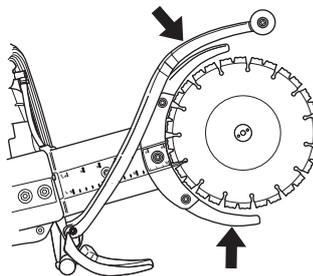


- パワーカッターを始動し、フルスロットルにします。スロットルを開放し、ブレードが停止し、静止状態を保つことを確認します。スロットルがアイドリングの位置にあるにもかかわらずブレードが走行する場合は、キャブレターのアイドリング調整をチェックしてください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。



ブレードガードの検査

欠陥のあるガードや、正しく装着されていないガードは使用しないでください。



警告！マシンを始動する前はいつでも、ガードが正確に装着されていることを確認してください。

また、ブレードが正しく装着され、どこにも損傷がないことを確認します。損傷のあるブレードは、人的な傷害を招きます。「組立」を参照してください。

安全上の指示事項

ダイヤモンドブレード



警告！ブレードは、破損して、使用者に対して深刻な傷害を発生させることがあります。

マシン専用に設計された純正のブレード以外のブレードは絶対に使用しないでください。

用途として定められている物質以外には、ブレードを使用しないでください。

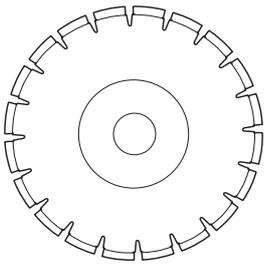


警告！ダイヤモンドブレードでプラスチックを切断すると、切断中に発生した熱によって物質が溶け、キックバックを発生させます。また、ブレードにプラスチックが付着します。プラスチック切断の回避。

はじめに

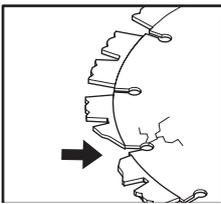
本機については、内蔵ベルトプリーハーフのある専用ダイヤモンドブレードのみを使用します。

ダイヤモンドブレードは、工業ダイヤモンドを含む部分のある、鋼鉄ボディーによって構成されています。



いつも、鋭い状態のダイヤモンドブレードを使用してください。

ブレードに、何らかのひびや損傷がないことを確認します。必要に応じブレードを交換します。



水冷却

水冷却をいつも使用する必要があります。これによって、ブレードを冷却し、寿命を延ばし、ほこりが蓄積することを防ぎます。



警告！湿式の切断用に設計されたダイヤモンドブレードを、継続的に水で冷却して過熱を防ぎます。過熱されると、ダイヤモンドブレードが変形し、マシンに対する損傷と人的傷害を招きます。

ブレードの振動

フィード時にかかる圧力が高すぎると、ブレードには、ひずみが生じて、振動することがあります。

フィード時の圧力を下げることで、振動を停止させることができます。あるいは、ブレードを交換します。「ブレードの組立」の説明を参照してください。

ブレードによって、物質の切断ができるようになります。

物質

ダイヤモンドブレードは、石、強化コンクリート、その他の合成物質に最適です。ダイヤモンドブレードは、金属の切断には向いていません。

ダイヤモンドブレードは、様々な硬さの種類によって提供されています。ブレードによって、物質の切断ができるようになります。「ソフト」なダイヤモンドブレードは、比較的短い使用期間を持ち、切断能力が高く設定されています。これは、花崗岩や硬化コンクリートなどの硬い物質の切断に使用されます。「ハード」なダイヤモンドブレードは、長い使用期間を持ち、切断能力が低めに設定されています。これは、レンガやアスファルトのような柔らかい物質の切断に使用されます。

ダイヤモンドブレードの研ぎ方

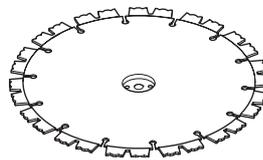
ダイヤモンドブレードは、動作時にかける圧力が間違っているときや、高度に強化されたコンクリートを切断するときには、鋭さを失います。にぶくなったダイヤモンドブレードで作業をすると、過熱を招き、これはダイヤモンドセグメントのゆるみを生じさせることがあります。

ブレードを、砂岩やレンガなどの柔らかい物質を切断することにより、研いでください。

高速手持ち式マシン

本機については、内蔵ベルトプリーハーフのある専用ブレードのみを使用します。

ブレードは、マシンの定格プレートに記載されている速度と同一またはそれよりも速い速度が示されている必要があります。パワーカッターの規格よりも低い速度においてブレードを使用してはいけません。



安全上の指示事項

一般的な作業方法

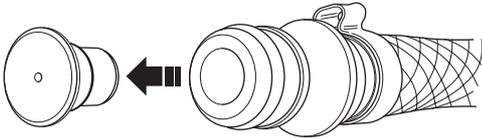


重要！このセクションでは、パワーカッターの使用に際しての基本的な安全注意事項について説明しています。記載された情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。本機をお買い上げになった販売店、サービス代理店やパワーカッター使用の経験が長い人などに相談してください。よく理解できていない状態で、作業を行わないでください！

水冷却

水冷却をいつも使用する必要があります。これによって、ブレードを冷却し、寿命を延ばし、ほこりが蓄積することを防ぎます。

水の流れを減少させる制限器が、水ホースには装備されています。

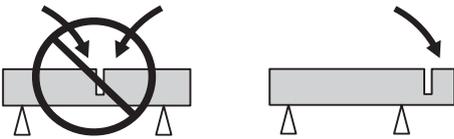


水タンクが使用されたときなど、水圧が低い場合は、制限器を外して、正しい水流にすることができます。

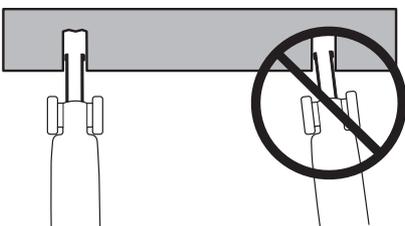
注意！ベルトが滑ることがあるため、絞りをかけていない高圧な水を使用しないことが重要です。

切断技術

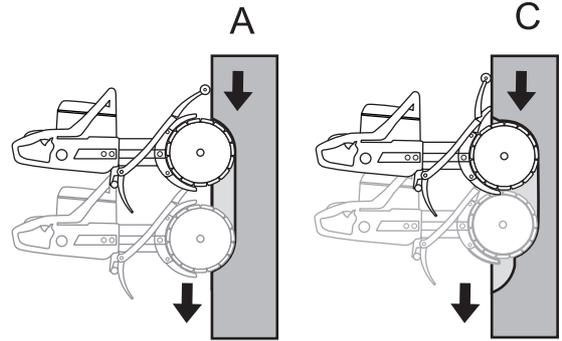
- 作業の対象を、動きの予想できるような位置で固定し、かつ、切断面が切断中によく分かるようにします。



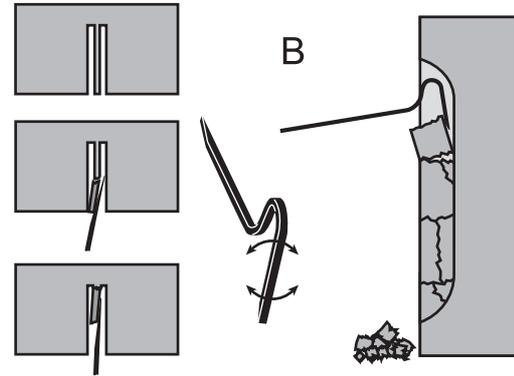
- いつも、マシンを両手で固く支えてください。ハンドルのまわりを指の全体でしっかりと握ります。
- マシンが始動したときは、ブレードが何かに接触しないようにします。
- マシンが最大速度で動作している状態で、切断を開始します。
- 徐々に切断を開始し、ブレードに力や圧力をかけることなく、マシンを動作させます。いつも、最大速度において切断してください。
- すでにある切り口から切断をするときは、同じ方向から切断をします。以前の切り口に対して斜めの方向から切断することは避けてください。ブレードのジャミング、またはマシンが切り込みに入り込むことがあります。



- いつも、上から下へ切断を行うようにしてください。カッターを取り除き、ボールを使用して、切り込み(B)の間に残っている物質を取り除きます。

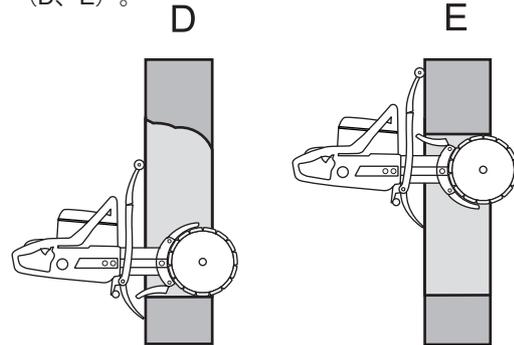


- 同じ切り込みに沿わせますが、今度は作業部分(C)まで行い、ボールで作業を繰り返します。

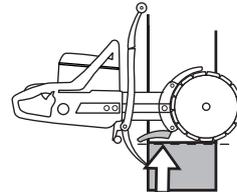


警告！垂直に切断するときは、いつも、切り口の上から下に切るようにします。切り口の下から上に切断を行ってははいけません。キックバックを引き起こし、傷害を発生させるおそれがあります。

- 必要な切断深度に達するまで、作業手順を繰り返します(D、E)。



- ブレードガードは、パワーカッターが作業対象に対してどの程度の深さまで移動するかにつき、容易に適應できるよう設計されています。



警告！パワーカッターを横に引かないでください。ブレードのジャム、破損につながり、人に対して傷害を引き起こすことがあります。

安全上の指示事項

キックバック

キックバックは、キックバックゾーンと呼ばれる場所において、ブレードが静止（挟まる、ジャミング、ゆがみ）することによって、ソーが突然に後方に動くことをいいます。多くのキックバックは、小さいものであり、フロントハンドルの小さな動きとして感じられます。しかし、キックバックは時として非常に力のあるものになります。注意をしていないときや、ソーを弱く握っているときは、使用者に向かって跳ね返ってくる場合があります。



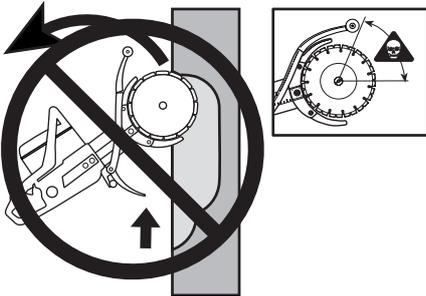
警告！キックバックは非常に突然かつ激しいものであり、ソーが使用者に向かって跳ね返ることがあります。重大な、あるいは致命的な傷害をもたらすことがあります。キックバックを生じさせる原因を理解し、適切な切断技術を使用してキックバックを避けることが重要です。

キックバックの原因

キックバックは、ブレードのキックバックゾーンにおいて、例えば、上方あるいは使用者の方向に切断しているときに発生します。

一般的な注意事項

- キックバックゾーンが積極的に切断に使用されないよう、上方向または使用者に向かって切断しないようにします。



- いつも、マシンを両手で固く支えてください。ハンドルのまわりを指の全体でしっかりと握ります。
- バランスを保ち、安定した足場を確保します。
- 垂直に切断するときは、いつも、切り口の上から下に切るようにします。
- いつも、フルスロットルにて切断してください。
- ブレードの上部4分の1（キックバックゾーン）で切断を行わないでください。切断部において、ブレードの横面をひねったり、押したりしてはいけません。キックバックを生じさせることがあります。
- すでに切断した部分にブレードを再び挿入するときは、注意してください。切断部が十分に広く、ブレードが切断部において斜めになっていないことを確認します。キックバックを生じさせることがあります。
- 作業対象の物から、安全な距離を保ちます。
- 肩よりも高い部分の切断をしないでください。
- はしごから切断を行わないでください。高所で作業をするときは、踏み台または足場を使用してください。
- 作業の対象が移動したり、その他の場合に、切断部が閉じて、ブレードのジャミングを起こす場合に気をつけてください。

引き込み

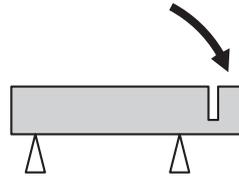
引き込みは、ディスクの下部部分が突然停止した場合や、切断部分が閉じた場合に起こります。（これを防止するためには、下記の「基本ルールおよびジャミングと回転」を参照してください。）

挟み込み/回転

切断部分に圧力がかかると、ジャミングを引き起こすことがあります。マシンが突然の力によって引き込まれる可能性があります。

挟み込みの避け方

切断動作中、および切断後に、切断部分が開かれた状態が保たれるよう、作業対象物を固定しておきます。

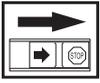


エンジン速度の検査

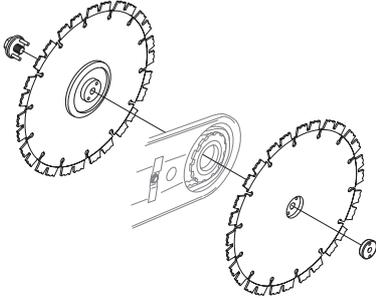
積算回転計を一定の間隔で確認し、エンジン速度が作業温度に保たれ、フルスロットルで、負荷のないことを確かめます。

組立て

ブレードの組立

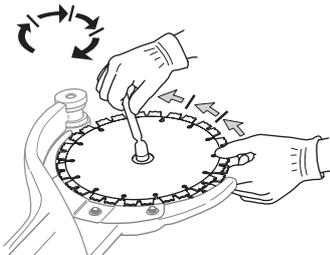


ハスクバーナのブレードは、K650 Cut-n-Breakによってフリーハンド切断をするために、特別に製造かつ承認されています。ブレードは、一体的なベルトプリーハーフを装備し、一式合わせて交換されます。



- バーナットをゆるめ、取り付けねじを反時計回りに数回まわし、古いブレードが外れるまで、バーを最後まで再度取り付けます。これにより、新しいブレードの取り付け時に、ドライブベルトがより正しい位置にあるようにします。ドライブベルトは、容易には取り付けできません。
- 中心のナットをゆるめて、ブレードを外します。ブレードを外すときは、ドライブベルトを確認して、摩耗がないか調べます。ドライブベルトを交換するときは、「ドライブベルトの交換」の項目にある説明を参照してください。
- ブレードを切断アームの各側面に取り付けます。ドライブベルトハーフの両方のガイドピンのための穴が、一列に並び、ウォッシャーの穴と一致することを確認します。また、ナットについても確認します。ガイドピンによって、**ボルトとウォッシャーユニットを取り付けます。**

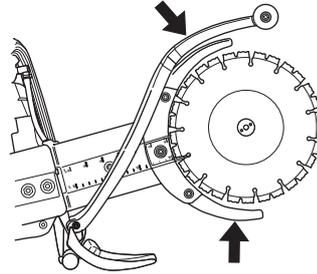
注意！ ナットが締められるときには、ブレードが回転することが重要です。これは、ブレード/ドライブベルトがナットと一緒に引っぱられたときに、ベルトがブレード上の一体型ドライブベルトハーフの間で締めつけられていないことを確認するためです。理想的には、これは交互に行うことが効果的です。つまり、少し締め、少し回転させ、これをブレードが固定されるまで続けます。



重要！ ベルトを締め、切断の前にベルト調整を確認することを忘れないでください。「ドライブベルトの検査と調整」の項目の説明を参照してください。

ブレードの保護

- ガードが、マシンにいつも取り付けられている必要があります。切断作業の前には、ガードが適切に固定されていることを確認してください。



燃料の取扱

燃料

注意！本機は2サイクルエンジンを搭載しているため、運転にはガソリンと2サイクル・エンジンオイルとの混合燃料が必要です。正しい混合率を確保するためには、オイルの量を正確に計量することが重要です。少量の燃料を混合する場合は、わずかな誤差でも配合に多大な影響を及ぼすことがあります。



警告！燃料を取り扱う際は、常に十分な換気を行ってください。

ガソリン

最低オクタン値は90です。90 (RON) よりも低いオクタン値でエンジンを動作させると、ノッキングを引き起こすことがあります。ノッキングが起きるとエンジンの温度が上がって、エンジンの深刻な損傷につながる可能性があります。

2サイクルオイル

- 最良の効果をj得るには、ハスクバーナ2サイクルエンジンオイルをご使用ください。このオイルは本機に使用される空冷式2サイクルエンジン用として特別に調合されています。
- アウトボードオイル(TCW)とも呼ばれる水冷式船外機用の2サイクルオイルは絶対に使用しないでください。
- 4サイクルエンジンオイルも絶対に使用しないでください。

混合比

1:50 (2%)、ハスクバーナ2サイクルオイル、またはその同等物

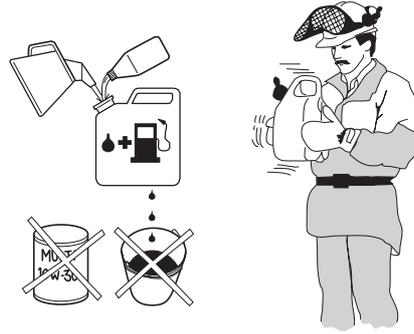
1:33 (3%)、オイルクラス JASO FB または 2サイクルエンジン空冷用ISO EGB

ガソリン、リットル	2サイクルオイル、リットル	
	2% (1:50)	3% (1:33)
5	0,10	0,15
10	0,20	0,30
15	0,30	0,45
20	0,40	0,60

混合

- ガソリンとオイルを混合するときは、常に清潔な燃料用容器をご使用ください。
- 必ず使用予定の半量のガソリンを、最初に容器に入れます。次に、オイルをすべて追加します。混合燃料を混合します（振ります）。最後に残りのガソリンを加えます。

- チェンソーの燃料タンクに給油する前に、混合燃料を良く混ぜ（振り）ます。



- 1ヵ月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。
- チェンソーをしばらく使わないときは、燃料タンクを空にし、清掃してください。

給油



警告！火災を避けるため、以下の注意を守ってください。

燃料付近では、喫煙したり、熱いものを置いたりしないでください。

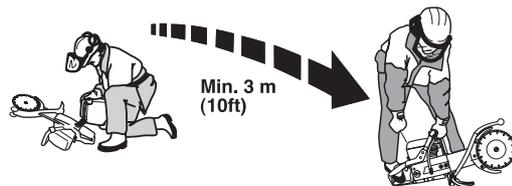
給油時には、いつでもエンジンを停止させてください。

給油の際には、超過圧力が徐々に放出されるよう、燃料キャップをゆっくり開けてください。

給油後は燃料キャップをしっかりと閉めてください。

マシンを始動する際は、必ず給油場所から移動してください。

- ハンドルは、オイルや燃料がつかず、乾燥した状態に保ってください。
- タンクに入れる前に、容器を振って、燃料が十分に混合されているようにしてください。
- 燃料の給油時には、いつも注意を払ってください。マシンを始動させるときには、給油場所から少なくとも3メートル離れた場所にマシンを移動させてください。燃料キャップが正しく締まっているか確認してください。



- 燃料キャップの周辺を清掃してください。燃料タンクとオイルタンクは、定期的な清掃が必要です。燃料フィルターは、少なくとも年に一度交換してください。タンク内に汚れが侵入すると、故障の原因となります。

始動と停止

始動前に



警告！ 始動時には以下の注意点を守ってください：

クラッチカバーが装着されていない状態でパワーカッターを始動させないでください。クラッチが外れて負傷の原因となることがあります。

マシンを始動する際は、必ず給油場所から移動してください。

使用者とマシンが十分な作業距離を保ち、ブレードが自由に回転できるようにしてください。

作業場所に関係者以外の人や動物がいないことを確認してください。

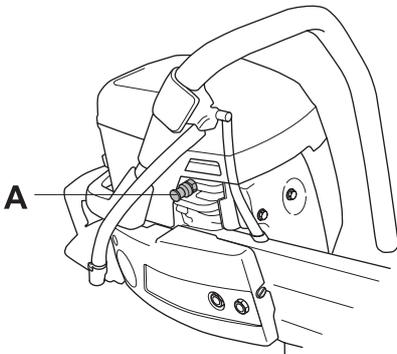
水コネクター

水ホースを水供給部分に接続します。水の流れは、水タップを使用して調整できます。

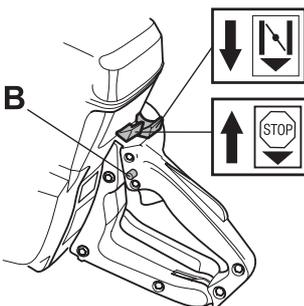
冷機エンジンの始動



減圧バルブ：シリンダー内の圧力を下げるため、バルブを押ししてください。これは、パワーカッターの始動を助けるためのものです。減圧バルブ(A)は、始動時にはいつも使用される必要があります。マシンの始動時、バルブは自動的に初期位置に戻ります。



スタートスロットルロック：スロットルトリガーロック、スロットルコントロールを押し、スロットルロック (B) を始動させます。スロットルコントロールを開放すると、半スロットル位置にロックされます。スロットルコントロールが完全に押されると、ロックが解放されます。

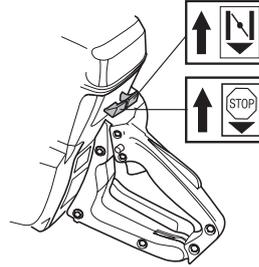


点火：ストップスイッチをスタート位置に設定します。

チョーク：チョークコントロールを完全に引き出します。

暖機エンジンの始動

始動方法は冷機エンジンとほぼ同様ですが、チョークコントロールをチョークの位置に入れません。

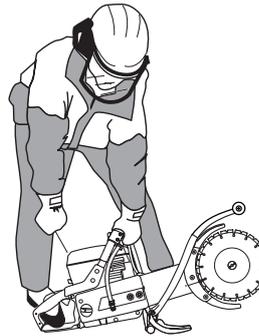


始動



警告！ エンジンが始動した場合、ブレードが回転します。自由に回転していることを確認してください。

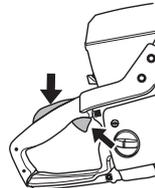
左手でフロントハンドルを握ります。右足をリアハンドルの下部に置き、マシンを地面に対して押しつけます。スターターロープは絶対に手に巻き付けしないでください。



スターターハンドルを握り、抵抗を感じるまでコードを右手で引き出し（スターター歯止めグリップ）、次にコードを素早く、力強く引きます。

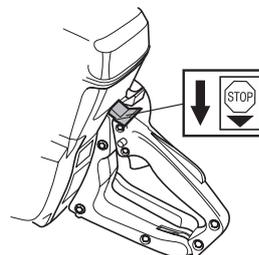
注意！ スターターロープをいっぱい引き出したところから、スターターハンドルを急に放さないでください。マシンが損傷を受ける可能性があります。

エンジンが指導したら、素早くフルスロットルにし、自動的に高速アイドルリングを開放します。



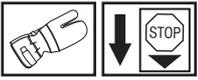
停止

ストップスイッチを使用し、点火装置を切り替えると、エンジンが停止します。

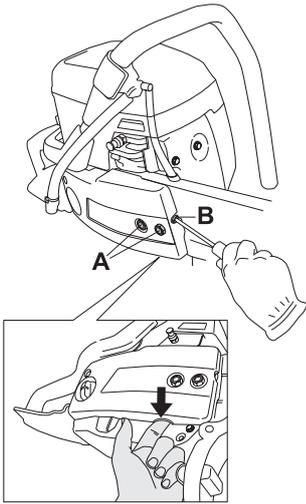


メンテナンス

ドライブベルトの検査と調整



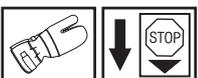
- ドライブベルトは完全に閉じられ、切断中にほこり、汚れ、機械的な損傷から十分に保護されています。
- 図のように、指で確かめることにより、ドライブベルトの調整を確認します。正しく調整されたドライブベルトは、5ミリほどの移動をします。



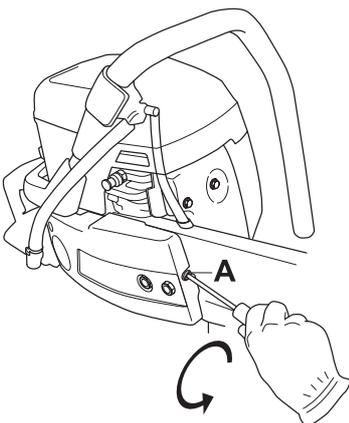
- ドライブベルトを調整するには、バーを保持している両方のねじを反時計回りに一回まわしてゆるめます。
- ドライブベルトの調整を指で確かめると同時に、調整ねじ (B) を時計回りにまわします。ドライブベルト上で5ミリほどの移動をするときは、正しく調整されている状態であり、バーを保持している両方のねじを締めることができます。

重要！ 燃料のタンクが1つまたは2つ使用された後で、新しいドライブベルトは再調整される必要があります。

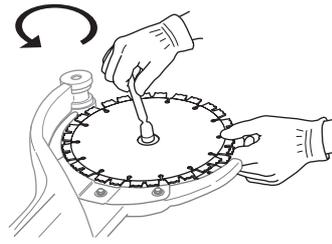
ドライブベルトの交換



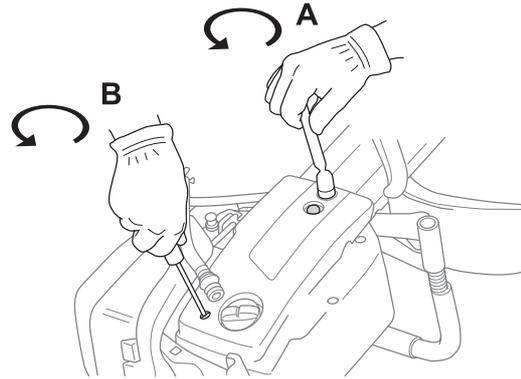
- ベルトの引き締めを弱めます。



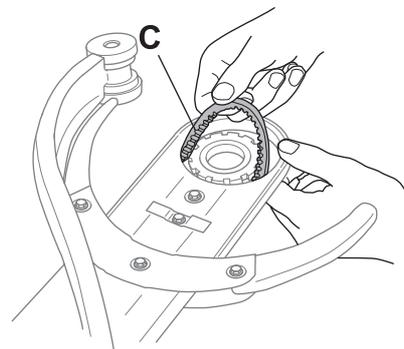
- ブレードを外します。



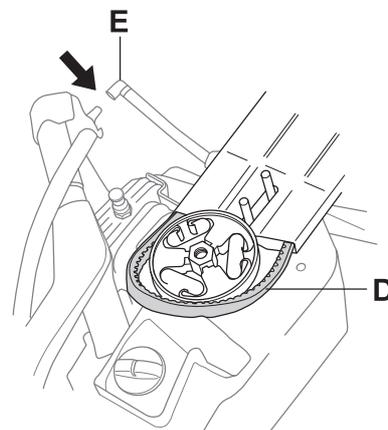
- ねじAとBをゆるめ、クラッチカバーを外します。



- 切断アーム (C) のノーズから、ドライブベルトを外します。

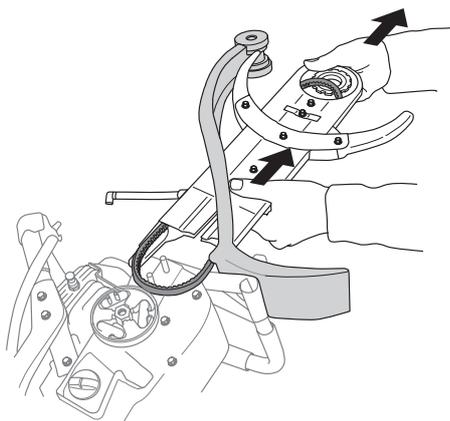


- 水ホース (E) をゆるめます。バーをスライドさせて戻し、クラッチ (C) の周りのドライブベルトを外します。

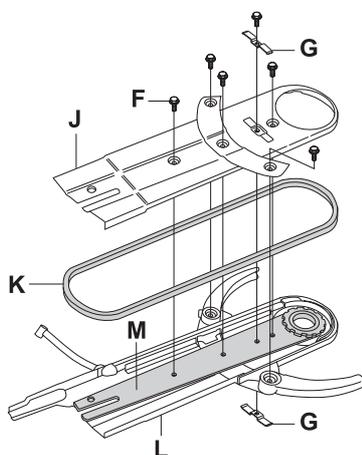


メンテナンス

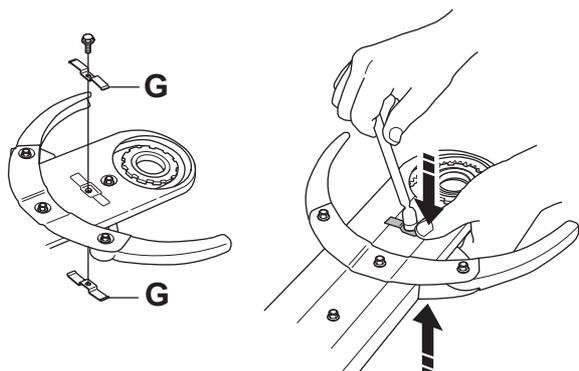
- 図のように切断アームを前方にまっすぐ引くことにより、引き抜きます。



- ドライブベルト (D) を完全に取り除きます。
- 切断アーム上でガードを保持している6つのねじ (F) をゆるめます。



- 新しいドライブベルト (K) を取り付けます。
- ガードとベルトカバーを再び取り付けます。
- バー (M) をプレート (L) 上に取り付け、プレートの穴がバーの穴と並ぶようにします。
- プレート (J) の端が、プレート (L) の端の内部に入るようにします。
- 6つのねじ (F) を締め、ドライブベルト (K) の締まりを確認/調整します。「ドライブベルトの検査と調整」の項目の説明を参照してください。
- 動作リミッター (G) を最後に取り付けます。図のとおり、プレートを一緒に固定します。



- ブレードを再度取り付け、ナットを締めます。「ブレードの組立」の項目の説明を参照してください。

注意！ベルト調整ねじが最後まで締められていること、および、バーが完全にねじで締められ、ベルトカバーが正しく取り付けられているようにします。

ベルトプーリーとクラッチ

ベルトプーリーとクラッチが外されている状態でエンジンを始動させないでください。

キャブレター

ハスクバーナの製品は、有害な排気ガスを軽減するような仕様に設計・製造されています。

機能

キャブレターはスロットルを介してエンジンの速度を制御します。キャブレター内で空気と燃料が混合されます。



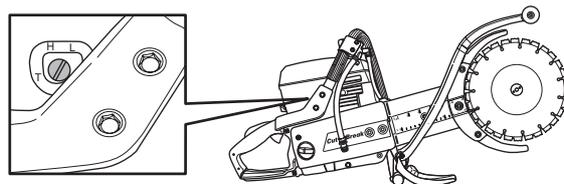
警告！マシンを切断アームまたは切断ヘッドが取り付けられていない状態で始動させないでください。クラッチが外れて負傷の原因となることがあります。

ニードル

キャブレターには、固定ニードルが取り付けられており、マシンが燃料と空気の正しく混合された状態をいつも保てるようにします。エンジンのパワーが足りない時、加速が悪いときは、以下を行います：

- エアフィルターを確認し、必要であれば交換します。
- それでも改善しないときは、認可されたサービス代理店に問い合わせてください。

アイドルングTネジの微調整



アイドルング速度の調整はTネジで行います。調整が必要であれば、ブレードが回転を開始するまで、アイドルねじを時計回りに回します。ブレードが回転を停止するまで、ねじを反時計回りに回します。エンジンがよどみなく加速するようであれば、アイドルング速度が正確に調整されています。

推奨のアイドルング速度：2500 rpm



警告！切断装備が停止するように、アイドルング速度を調整することができないときは、販売店/サービス代理店に問い合わせてください。マシンのご使用は調整または修理が適切に行われるまでお控えください。

メンテナンス

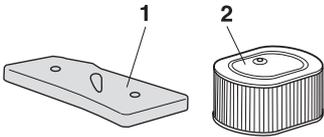
エアフィルター



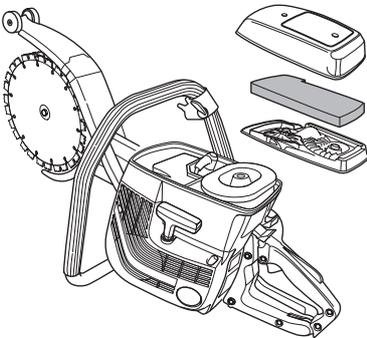
下記のような問題の発生を防止するため、エアフィルターを定期的に清掃し、ホコリや汚れがたまらないようにしてください。

- ・ キャブレターの不具合
- ・ 始動不良
- ・ パワーの低下
- ・ エンジン部品の不要な摩耗
- ・ 燃料の異常消費

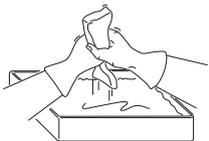
エアフィルターシステムは、潤滑されたフォームプラスチックフィルター (1) と紙フィルター (2) によって構成されています：



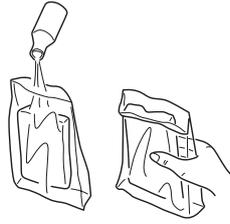
- ・ フォームプラスチックフィルターは、フィルターカバーAの下において容易に見つけることができます。このフィルターは、週ごとに検査をし、必要であれば交換します。適切なフィルター効果を得るため、フィルターは定期的に交換し、あるいは清掃・オイルをさします。専用のハスクバーナオイルが、この目的のために製造されています。



- ・ フォームプラスチックフィルターを取り外します。ぬるめの石鹸水でフィルターをよく洗います。洗浄後、フィルターをきれいな水ですすぎます。水けを絞り、フィルターを乾燥させます。注意！高圧の圧搾空気はフォームに損傷を与えることがあります。



- ・ フォームプラスチックフィルターに十分オイルを入れませす。フィルターの全体にオイルが浸透することが非常に重要です。
- ・ フィルターをプラスチックのバッグに入れ、フィルターオイルを上流します。プラスチックバッグをもみ、オイルをまんべんなく広げます。プラスチックバッグ内でフィルターから余分な油を絞り、フィルターをマシンに取り付ける前に余分な油を切ります。一般的なエンジンオイルを使用しないでください。これは、フィルターを通じて非常に速く排出され、底にたまりませす。



- ・ フォームプラスチックフィルターが何度も洗浄されると、損耗してきませす。伸縮性がなく、フィルターカバーをしっかりとふさがないときは、新しいフィルターに交換してきませす。
- ・ 紙フィルターはカバーBの下にあります。このフィルターは、エンジンのパワーが低下したとき、あるいは1週間か2週間後に、交換/清掃される必要が有ります。フィルターは洗浄をしてはいけません。

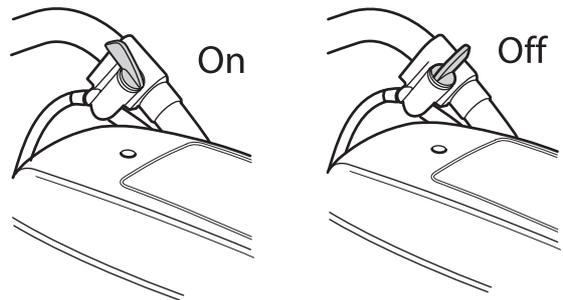
長期間使用したエアフィルタはどんなに洗っても完全にきれいにはなりません。定期的に新品のフィルタと交換してきませす。破損したエアフィルタは必ず交換してきませす。

重要！エアフィルターのメンテナンスを怠ると、スパークプラグに炭素がたまり、エンジン部品に異常な摩耗が生じます。

燃料フィルター

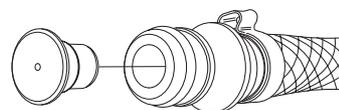
- ・ 燃料フィルターは、燃料タンクの内部にあります。
- ・ 燃料タンクは、給油時に不純物が入ることがないよう、保護される必要が有ります。これによって、タンク内の燃料フィルターが閉塞することによる動作上の障害リスクを減少させることができます。
- ・ フィルターは、洗浄することができませんが、詰まったときには新しいフィルターと交換する必要があります。燃料フィルターは、少なくとも年に一度交換してきませす。

水タップ



水フィルター

必要であれば、制限器を検査し、清掃しませす。



メンテナンス

スターター



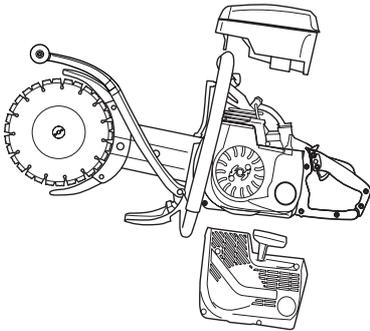
警告！リコイルスプリングがスターターハウジング内で引き締められているとき、それは張り切った状態にあり、不注意に取り扱っていると飛び出して傷害をもたらすことがあります。

リコイルスプリングやスターターコードを交換するときは、いつも注意を払ってください。いつも保護ゴーグルを着用してください。

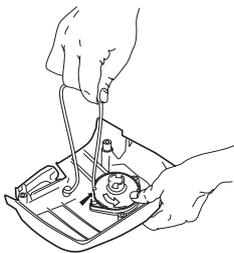
破損または摩耗したスターターコードの交換



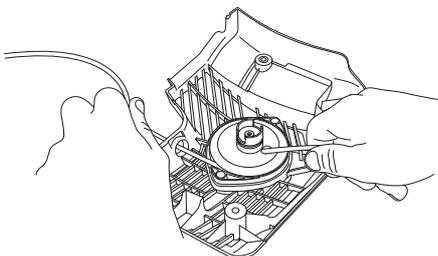
- フィルターとシリンダーカバーをゆるめます。
- スターターをクランクケースに対して保持しているねじをゆるめ、スターターを外します。



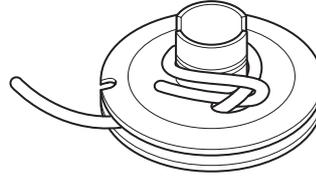
- およそ30cm、コードを引き、プーリーのリムにあるノッチに引っかけます。リコイルスプリングを、プーリーをゆっくりと逆に回転させることにより、解放します。



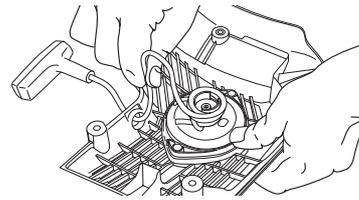
- 古いスターターコードの残りの部分を取り除き、リターンスプリングが動作することを確認します。新しいスターターコードをスターターハウジングとコードプーリーの穴を通して挿入します。



- スターターコードを、図のとおり、コードプーリーの周りに固定します。締め具をよく締めて、自由端が可能な限り短くなるようにします。スターターコードの終わり部分をスターターハンドルに固定します。



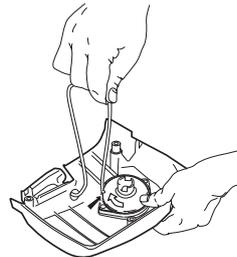
- コードを、プーリーの表面のカットアウトを通して導き、スタータープーリーの中心の周りに、コードを3回時計回りに巻きつけます。



- 次にスターターハンドルを引き、それによってスプリングを引き締めます。もう一度以上を繰り返しますが、今回は4回巻きます。
- スプリングを締めた後、スターターハンドルが正しくホームポジションにあることを確認します。
- スターターラインを完全に引き、スプリングが最終位置にないことを確認します。親指でスタータープーリーの速度をゆるめ、プーリーを少なくとも反回転で回すことができることを確認します。

リコイルスプリングの引き締め

- スターターコードをプーリーのノッチに取り付け、スタータープーリーを約2回時計回りに回します。



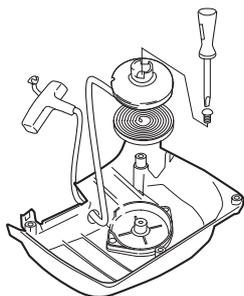
注意！スターターコードがすべて引き出されたとき、プーリーが少なくともさらに2分の1回転できることを確認します。

メンテナンス

破損したリコイルスプリングの交換



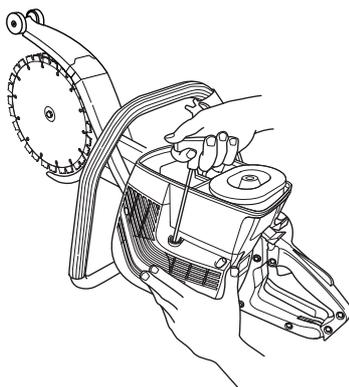
- ・ プーリーの中心のボルトを外し、プーリーを取り外します。
- ・ リターンスプリングが、スターターハウジング内で引き締められた状態であることを注意してください。
- ・ スプリングカセットを保持しているボルトをゆるめます。



- ・ ねじ回しを使用して、スターターを回し、フックをゆるめることで、リコイルスプリングを外します。フックは、スターター上のリターンスプリングの組立部を保持しています。
- ・ リコイルスプリングを、軽油で潤滑します。プーリーを取り付け、リコイルスプリングを引き締めます。

スターターの取り付け

- ・ スターターを取り付けるには、まずスターターコードを引き出し、スターターをクランクケースに対する位置に置きます。次に、ゆっくりとスターターコードを開放し、プーリーが歯止めにかかるようにします。



- ・ スターターを組立、ねじを締めます。
- ・ シリンダーカバーをフィルターカバーを取り付けます。

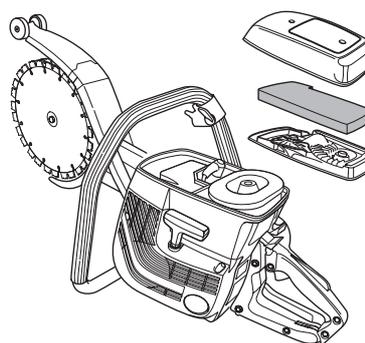
スパークプラグ



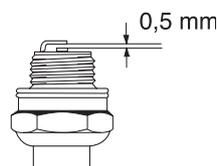
スパークプラグの状態は下記の点に影響されます。

- ・ 不適切なキャブレター調整。
- ・ 間違った燃料の混合（オイルが多すぎる）
- ・ エアフィルターの汚れ

上記の要因によりスパークプラグ電極にカーボンが付着し、運転中の不具合や始動困難などの原因となります。



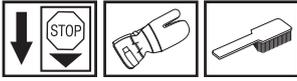
- ・ マシンのパワーが低い場合、始動ができない場合、あるいはアイドリング速度で動作が遅い場合：何らかの行動をとる前に、いつも、スパークプラグを検査します。スパークプラグが汚れている場合は、清掃し、電極のギャップが0.5 mmであることを確認します。スパークプラグは、1か月間の動作後に、あるいは必要であればもっと早く、交換されなければいけません。



注意！必ず指定のタイプのスパークプラグを使用してください！不適正なスパークプラグは、ピストンやシリンダーの損傷の原因となります。

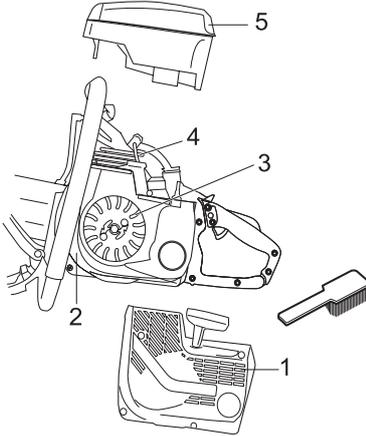
メンテナンス

冷却システム



動作温度を可能な限り低く保つため、マシンには冷却システムが取り付けられています。

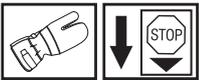
冷却システムは以下によって構成されています：



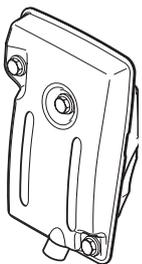
1. スターターの吸気口。
2. エアガイドプレート。
3. フライホイールのフィン。
4. シリンダー上の冷却フィン。
5. シリンダーカバー（シリンダー上に冷気を導きます）。

1週間に一度、あるいは使用状態によってはそれよりも多い頻度により、ブラシで冷却システムを清掃します。汚れた、あるいは閉塞した冷却システムは、マシンを過熱状態にし、ピストンやシリンダーに損害を与えることとなります。

マフラー

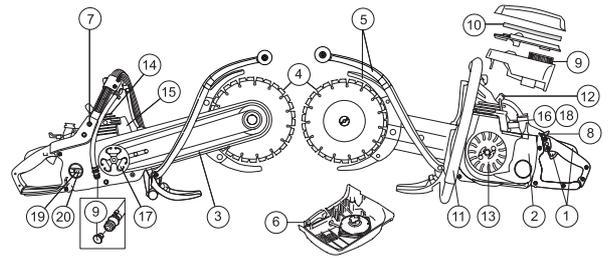


マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、排気ガスを使用者から遠ざける働きをします。排気ガスは熱く、火花を生じさせるため、乾燥した、可燃性の物質に向けられると、火災を発生させることがあります。



不良のあるマフラーが取り付けられたマシンは使用してはいけません。

一般的なメンテナンス方法



下記は、一般的なメンテナンス方法です。何らかの質問がある場合は、サービス代理店に問い合わせてください。

日々のメンテナンス

1. スロットトリガーの構成部分がスムーズに動作することを確認します（スロットトリガーとスロットトリガーロック）。
2. チェンソーの外側を清掃します。
3. ドライブベルトの張りを検査します。
4. ブレードとドライブギアの状態を検査します。
5. ブレードガードの状態を検査します。
6. スターターとスターターコードを検査し、スターターユニットの吸気口の外側を清掃します。
7. ナットおよびねじが確実に締められているかどうかを確認します。
8. ストップスイッチが正しく機能していることを確認します。
9. 制限器の機能を検査します。

週ごとのメンテナンス

10. エアフィルターの状態を検査します。
11. ハンドルや防振装置に損傷がないかどうか点検します。
12. スパークプラグを清掃します。電極ギャップが 0.5 mm あるかどうか点検します。
13. フライホイールのフィンを検査します。スターターとリコイルスプリングを検査します。
14. シリンダーの冷却フィンを検査します。
15. マフラーがしっかりと固定され、損傷がないことを確認します。
16. キャブレターの動作を確認します。

月ごとのメンテナンス

17. クラッチセンター、ドライブギア、およびクラッチスプリングに摩耗がないか点検します。
18. キャブレターの外側を清掃します。
19. 燃料フィルターと燃料ホースを検査します。必要に応じ交換します。
20. 燃料タンクの内部を清掃します。

主要諸元

主要諸元

K650 Cut-n-break

エンジン

排気量, cm ³	71
シリンダー内径, mm	50
ストローク, mm	36
アイドル回転数, min-1	2500
推奨される最大アイドルリング速度, rpm	9750 (+/- 250)
出力, kW	3,5

イグニションシステム

メーカー	EM
スパークプラグ	Champion RCJ 6Y/ NGK BPMP 7A
電極ギャップ, mm	0,5

燃料および潤滑システム

キャブレターのメーカー	Tillotson
キャブレターの型式	W CAT: 5,7
燃料タンク容量, リットル	0,7

重量

水キットを含め、燃料と切断装置を除いた重量, kg	8,9
水キット、燃料、切断装置を含めた重量, kg	10,3

騒音の排出

(注意1を参照)

音響パワーレベル, dB(A)により計測	115
音響パワーレベル, LWA dB(A)により保証	116

音レベル

(注意2を参照)

使用者の耳における同等な音圧レベル、EN 1454 dB(A)に従って計測	100
---------------------------------------	-----

振動レベル

ISO 19432に従って計測されたハンドルの振動

フロントハンドル, 同等値, m/s ²	3,2
リアハンドル, 同等値, m/s ²	5,7

注意 1： 環境における騒音の排出は、EC 指令 2000/14/ECに従って、音響パワー(LWA)として測定。

注意 2： 同等な音圧レベルは、様々な動作状態における、以下の時間分布による時間加重エネルギーの合計として計算されます。1/2 アイドリングおよび 1/2 最大速度。

切断装置

切断ブレード	ギア比	最大周辺速度, m/s	最大切削深度
9"	48/79	80	400 mm

最大ブレード速度, rpm

6200



主要諸元

EC適合性宣言

(欧州のみ適用)

ハスクバーナ・コンストラクション・プロダクツ, SE-433 81 Partille, Sweden, 電話: +46-31-949000, は、その自らの責任において、パワーカッター**K650 Cut-n-Break** が、2006年のシリアルナンバー以降から（年度は、連続したシリアルナンバーとともに、定格プレートに簡潔な文字で明示されています）、委員会の指令に定める要件に従っていることを宣言します：

- 機械に関する、1998年6月22日の **98/37/EC**, 別紙 IIA。
- 電磁的な互換性に関する、2004年12月15日の **2004/108/EC**。
- 環境に対する騒音の排出に関する、2000年5月8日の **2000/14/EC**。別紙VIに従った適合性評価。

騒音の排出に関する詳細は、「主要諸元」の項目を参照してください。

以下の基準が適用されています：**EN ISO 12100:2003, EN ISO 55012:2002, EN 1454, ISO 19432**

SMP Svensk Maskinprovning AB, Fyrisborgsgatan 3, SE-754 50 Uppsala, Sweden は、Husqvarna ABのために、指令 2000/14/EC に関し、任意の形式による承認を行いました。証明書の番号：01/169/002

Partille、2006年5月2日



Ove Donnerdal, 開発マネージャー

1151266-79



2008-09-05